

グリーンスポーツ倶楽部で。ビニールバレ ボールで跳んで、打って、みんなハッスル!

健康づくりは 仲間づくりから

嘉藤晋作さん (運動推進協議会委員)

週に1度、市立体育館に集まって軽スポ ーツを行っているサークルが「グリーンス ポーツ倶楽部」です。

高校の教諭時代に、生徒の動く姿を見な がら「退職した人たちは家で何をしている んだろう」と気になっていて、退職と同時 に友人に声をかけ、平成8年にこのサーク ルを作りました。「楽しい」「体力がついた」 「人を覚えた」と好評で、現在の会員は50 代から80代まで150人です。

みんなで楽しみながら運動をすると、体 を動かすのが苦にならないし、気心の知れ た仲間と大声で笑ったりおしゃべりしたり することで、筋肉も頭も両方が刺激される ようです。よく笑う、よくしゃべるという のは、健康にもとても大切なことです。

家でどうすればいいのかわからないでい る人は、たくさんいると思います。公民館 やコミセンなどの施設を利用して、このよ うな集まりが各地域で立ち上がってくれる といいですね。

ることがないよう、周囲の大人が アルコー ルが健康に及ぼす影響に すすめないようにしましょう。 気を配り、 未成年者が好奇心で飲酒したりす 飲酒を心がけましょう 絶対にお酒を子どもに

節度ある適度な飲酒を心がけまし

について学び、

節度ある適度な

アルコー ルが健康に及ぼす影響

歯のない子どもを増やしましょ ど、歯の健康づくりを行い、 乳幼児期から歯みがきをするな

むし

受けましょう。 歯垢除去やブラッシング指導を受 自分の歯の健康状態を知り、 自分の歯を20本以上保ちましょう。 むし歯予防、歯周病予防につとめ けるために、歯科検診を定期的に に歯医者さんに行きましょう。

新たに、「 妊婦歯科健康診査」 を実 幼児歯科健診」 な 定期歯科検診

ついて知識を提供します

情報を提供します。 アルコールについての相談窓口の

子どもの受動喫煙を防止する

た

分煙を呼びかけます。

る支援を行います。

禁煙相談など、 を防止します。

禁煙希望者に対す

の知識を提供し、

未成年者の喫煙

ばこが健康に及ぼす影響について



尿 病 環器病

病気の早期発見につとめましょう 生活習慣を改善し、 う。がん検診や健康診査の受診で 心臓病、がんを予防しましょ 糖尿病や脳卒

保つことをめざしましょう

涯にわたって自分の歯を2本以上 むし歯や歯周病予防につとめ、

生

か

う 正しい歯みがき習慣が身につくよ 健康教育を充実させます。

をさらにPRします。

禁煙・分煙をすすめよう

5月1日に「健康増進法」 が施行されました。

この法律の第25条では、多 くの人が利用する施設の管理 者は利用者の受動喫煙を防止 するようにつとめなければな らないとされています。受動 喫煙とは、室内などで、たば こを吸う人の周囲で煙を吸い 込んでしまうことです。

事業所や公共の場などでは、 禁煙や分煙などの受動喫煙防 止対策を進めましょう

4 たばこ

代から健康意識を高めます いて積極的に情報提供し、 20代~30代の人に生活習慣病につ

康相談を行います。

退職者を対象とした健康教育や健

がん検診、健康診査の受診率向上

につとめます。

診しましょう。

がん検診や健康診査を年に1

奇 . 回

酒などの生活習慣を見直し、 若いうちから、食生活や喫煙、

健康

飮

に気をつけましょう。

, <u> </u>						
項		現状値	目標値			
未成年者の喫煙率	15歳以下	0.6%	0%			
たばこを吸うことによって掛かりやすくなる 病気を知っている割合	肺がん	98.1%	100%			
	気管支炎	62.9%	100%			
	ぜんそく	55.8%	100%			
	低体重児・未熟児等の出生	52.4%	100%			
	心臓病	41.0%	100%			
	脳卒中	25.3%	100%			
	胃潰瘍	23.1%	100%			
	歯周病	18.2%	100%			
たばこを吸うときに周囲に気をつかわない人の割合		6.8%	0%			
子どもへのたばこの害について特に配慮していない人の割合		26.7%	0%			
公共機関の分煙および禁煙をしている施設数		今後調査	増加			

7 糖尿病・循環器病・がん

項 目	現状値	目標値		
健康に気をつけている人の割合	78.9%	100%		
健康なので健診は必要ないと考えている人の割合	30%	24%		
忙しくて都合がつかないから健診を受けない人の割合	28.4%	23%		

2 こころの健康づくり

ことのの庭旅ライグ						
項目		現状値	目標値			
いつもストレスを感じている	25~44歳	25.0%	22%			
人の割合	45~64歳	13.1%	11%			
気分が沈んだり、ゆううつに	45~64歳	40.8%	28%			
なることがよくある人の割合	65歳以上	28.2%	19%			
子どもが睡眠不足だと感じて いる親の割合	1~3歳	10%	9%			
	4~6歳	16.2%	14%			
	7~12歳	25.5%	22%			
睡眠を十分とれていない人の割合	15~24歳	37.9%	34%			
世版を十万とれていない人の割合	25~44歳	38.2%	34%			
睡眠を得るためにお酒を飲む人	25~44歳	26.1%	23%			
の割合	45~64歳	24.6%	23%			
睡眠薬などの薬を服用する人の割合	65歳以上	19.9%	17%			

6 歯の健康

項目	現状値	
検診や治療で歯科受診している人の割合 13~15歳	51.4%	75%以上
歯間ブラシなどを使用している人の割合 16歳以上	29.5%	50%以上
歯や口の中に悩みがありながら治療していない人の割合 16歳以上	32.7%	0%
定期的に歯科健診を受けている人の割合	48.9%	60%
歯科医で定期的に歯石を取っている人の割合	10.9%	30%

重点分野別

は市民が取り組むこと

は市が取り組むことです。

[標値をめざそう!

で、豊かな心と元気なからだ バランスのとれた楽しい食事 をつくりましょう

ましょう。 毎日朝食をとり、活動的に過ごし

な食事をしましょう。 所要量)を知り、量・質ともに適正 自分に必要な栄養素などの量(栄養

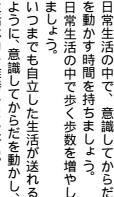
ましょう。 食べ、量・質ともに適正に確保し 少なくなりやすいので、積極的に 牛乳・乳製品や野菜は食べる量が

成分表示を参考にして食品を選択 は、自分の健康管理のため、栄養 市販食品や外食を利用するときに しましょう。

健康や食生活に関する講座を充実

ていきます。 食事に関する正しい知識を普及し 実施します。また、親に対して、 きる「たべものふしぎ体験隊」を 子どもが楽しく食の体験学習がで

適なからだを実感しましょう 生活の中で動きを意識し、



せた運動内容の指導や仲間づくり 生活体力を維持しましょう。 ように、意識してからだを動かし、 日を設け、個々の身体状況に合わ 運動情報を提供したり、運動相談

「高齢者筋力向上トレーニング事 業」を実施します。 場での運動指導を支援します。 の支援を行います。 運動習慣を身に付けるために、 職



し、吸うときは場所や周囲の人に たばこはなるべく禁煙または節煙

とりある生活をしましょう。 十分な睡眠・休養と上手なス トレス解消法で、いきいきゆ

めましょう。 十分な睡眠時間を取り、心身を休

を進めます。

ルシー メニュー 提供店の拡大など 外食店などの栄養成分表示や、へ

を取りましょう。 お酒や薬に頼らず、

相談しましょう。 ひとりで考え込まず、周りの人に こころにゆとりを持ちましょう。 自分に合ったストレス解消法で 心地よく睡眠

「こころ健やかキャンペーン」「職 ス解消法について、情報提供しま 話などで、こころの健康やストレ 業」を実施し、パンフレットや講 場におけるハートリフレッシュ事

者の資質の向上をはかります。 機関との連携を強化し、相談従事 民に提供します。また、各種相談 相談窓口についての情報を広く市

から身を守りましょう たばこの害について学び、吸う 人も吸わない人も、たばこの害

学校教育に加え、地域の中でもた 禁煙を広げましょう。 喫煙者は周囲の人に配慮して吸う せましょう。 未成年者の喫煙は、絶対にやめさ ことを心掛けるとともに、 十分配慮しましょう。

達 個別目標の達成に向け べた「現状値」をもとに、 て、市民アンケートで調 市民が取り組む具体的な

これからめざす「目標値」

なでがんばりましょう。 を設定しています。 目標に向かって、みん

2 身体活動			
項目		現状値	目標値
週3回以上体を動かす子どもの割合		77.1%	90%以上
	15~24歳	56.9%	70%
運動している人の割合	25~44歳	32.7%	40%
	45~64歳	48.1%	60%
	65歳以上	58.3%	70%
日常生活における歩数		6,731歩	8,000歩以上
仲間がいないという理由から運動 しない人の割合		18.3%	15%

5 アルコール					
項目		現状値	目標値		
未成年者の飲酒経験		19.6%	0%		
飲酒習慣のある人でお酒が適量で あれば体によいことを知っている 人の割合		85.7%	100%		
多量飲酒者	男性	12.5%	10%以下		
夕里臥眉白	女性	0%	現状維持		

1 栄養・食生活					
項目				現状値	目標値
	13~15歳		4.4%	0%	
朝食を欠食している人の	男性	16~	~24歳	27.6%	15%以下
割合	7511	25~	~44歳	27.3%	15%以下
	女性	16~	~24歳	17.6%	10%以下
子どもの食事に気をつけて	いる丿	人の割	副合	84.3%	100%
栄養バランスのとれている子どもの割合				71.4%	90%以上
牛乳・乳製品を毎日とってし	る子の	どもの	の割合	71.4%	90%以上
間食の時間が決まっている子ども 1~3歳 の割合 4~6歳			59.2%	80%以上	
			59.1%	80%以上	
栄養所要量を知っている人の割合男性女性			23.4%	50%以上	
			女性	32.6%	50%以上
食事量が適当と思っている人の割合 男性			69.4%	80%以上	
女性				62.9%	80%以上
栄養成分表示を参考にしている人の割合			40.1%	60%以上	
食事に関する学習会などに参加したいと思わない人の割合			64.9%	50%以下	
食生活に満足している人の割合			72.6%	90%以上	
外食料理栄養成分表示やヘルシーメニューが整っていると思う人の割合				38.9%	50%以上